

ハザール陰謀団とキリスト教ロシアの最終戦争： 世界のクライマックス

<http://stateofthenation.co/?p=165170>

SOTN/ Preston James

April 27, 2023



ハザール・マフィアと繋がるロスチャイルド一族

今、ハザール・マフィアとロシア人との、地球惑星上の大昔からの戦争が、最終段階に達しつつあるのか？

昨日の未確定の報道によれば、イスラエルが軍隊をウクライナに送り、ゼレンスキー軍をロシア兵と戦わせようとしたが、彼らは短時間で完全に敗退させられたという。この種の軍事行動は絶望的な努力に見える。ロシア連合の完全な兵器の優秀さが、(これまでのところ)ウクライナでの、連合の勝利を約束しているように見える。

そして今、確実が報道によると、数百の NATO 将校のいる、キエフ近傍の秘密の地下基地が、ロシア連邦 (RF、Russian Federation) の戦闘機の 1 つから発せられた、超音速ミサイルによって砲撃され破壊された。

ゼレンスキーは前から、ウクライナは RF に対して大反撃を予定しており、これによってクリミア半島を破壊し奪還すると言っている。これまでのところ、そんなことは起こっていないし、起こる様子もない。もし RF が決断すれば、陸路と空中戦によって、20 分以内

でキエフへのすべてのアクセスを断つことができ、ブリュッセルと NATO/Gladio/DVD を、1 時間以内に灰燼に帰するであろう。



RF はまだ、ウクライナで、彼らの最も秘密の兵器を使ってさえいないと言われており、それは彼らの進んだ量子力学のスカラー周波数と、時間をワープするテクノロジーである。

自製の 8 年間ずっと、ロシア人はドンバスで攻撃され、狙撃され、テロ行為を受けてきた。これは米国務省内部の特別の RKM (ロスチャイルドの支配するハザール・マフィア) の手配によるもので、彼らはマイダンのクーデタにカネを出し、これを利用した者たちだった。そのうちに RF も我慢ができなくなり、そこに住む罪のないロシア人と、RF の境界を攻撃するだけでなく、ミンスク合意を無視する NATO を、もはや許すことはできなくなった。明らかに、クリミア半島とドンバスは歴史的にロシアのものであり、その市民のほとんどはロシア語を話し、RF の一部になることを希望していた。

RKM = Rothschild-controlled Khazarian Mafia

そして RF に向けられた、アメリカと西側による広範囲な制裁は、RF の経済力を大きく増大させた。アメリカが、ヨーロッパへの天然ガス・パイプラインを爆破したことは、却って RF に、多大の利益をもたらしたように見える。やがてドイツ人にも分かることであろうが、彼らの低価格の RF 天然ガスの切断は、彼らの工業力と経済に打撃を与え、ドイツを世界の第三国に変えてしまうだろう。

ドイツと EU の指導者たちがこの破壊行為と、グローバリストの命じた彼ら自身の社会と経済の破壊に従うとは、何と不思議なことか？ これら西側の指導者たちの頭に何が起こ

ったのだろうか？ 彼らは自分に給料を払ってくれる民衆を裏切ったのだ。なぜ彼らは、自分の国と自分自身の主権を破壊したがるのだろうか？

答えは、グローバリストの頭目の、最も倒錯した相棒の言った言葉にある：——人間の頭脳はハッキングされているのだ。グローバリストのリーダーのトップは公然と、「将来、君たちは幸福であること以外に、何も持たなくなるだろう」と言った。なぜか？ なぜなら、大衆は明らかに、自分の頭脳をごっそりハックされていて、一つの思考法で考えるようにクローン化されているからだ。こうしたことはすべて、発達した「黒を超えた」(悪の?) Beyond-Black 頭脳のハッキング・テクノロジーそのものを、利用してできたのだろうか？ まさにこうした頭脳ハックに、侵されているように見える人たちが、かなりいるのは、どうしたことか？ 硬派の真理探究者や独立した強い意志を持つ人々には、こういうものは通じないのが当然と思われるのだが。

想像できることだが、もしこの情報が正しいとして、もしイスラエルがウクライナ軍を支援し、ウクライナの RF を撃退しようとして、RKM の COL (City of London) のトップを演じようとするなら、RF の兵器の優秀さは、イスラエルにとって非常に危険なことになる。ペンタゴンの軍事力は、病弱な、選挙によらないバイデン政権の下で、大きく弱体化したのは確実に思われる。イスラエルはすでに内部分裂し、政治的に崩壊しつつある。悲しいことに、彼らの政府のパレスチナ迫害に嫌気がさし、平和を求める多くのイスラエル人がいるが、彼らの声は、通りに出てデモを行っても、RKM を根底にもつ政府に無視されている。彼らの平和の願いは、RKM のトップ・リーダーたちには届かず、この者たちはアメリカの兵士を「大砲のエサ」として扱い続け、多くの中東国家を破壊し、彼らの極度に悪なる「拡大イスラエル」計画を推進し続けている。もちろん彼らは、自分自身が戦う気はなく、自分の子どもたちに戦わせるつもりもない。

そしてイスラエルは、アメリカの、ネオコンや PNAC (米新世紀プロジェクト) 集団の援助によってなすとげた 9/11 を、密かに罰せられているらしい。9/11 以後、ネオコンと PNAC は、アメリカの「秘密宇宙戦争計画」によって、このような行動を再び行うなら、イスラエルの軍事能力は、短期間に無に帰するだろうと警告された。

イスラエルの防衛を支えるペンタゴンの十分な軍事力がなければ、彼らは干上がり、確実に弱体化するであろう。そしてうわさが真実なら、「核の蛇食いたち」は、方々のイスラエル大使館に蓄えられていた、すべてのイスラエルの核を吐き出し、彼らは仕事が無くなって閉鎖したものと思われる。もしそれが本当なら、彼らの Samson Option (力による抑止力売りつけ) は今、RF との核戦争を睨んでペンタゴンを操ることができなければ、全く限られたものとなる。

もしこうした RF の優秀さについての報道が正しければ、ロシア連合は今、非常に高度な破壊手段をもっていると考えられる。それはブリュッセルの NATO/Gladio/DVD を完全に無能にするだけでなく、すべてのイスラエルの防衛力や、進んだ量子兵器を使う核兵器をも含んでいる。この進んだ RF の兵器についての主張を疑う人があれば、米駆逐艦「ドナルド・クック」事件を調べてみればよい。この船がほんのわずかにロシアの防衛力を試したとき、RF の戦闘機が応戦に送られ、米駆逐艦ドナルド・クックは、この戦闘機を追うために、ミサイルのレーダー・システムをオンにした。RF のパイロットの反応は、進んだ量子物理学の性能をもつ、特殊なウィング・ポッドを起動することだった。それはこの船の能力を一時、完全に遮断し、それを文字通り、海中で死んだままの状態にした。

ある人々によると、RF のミサイルには反重力をつくり出すノーズコーンがあって、空気抵抗なしに超高音速で飛ぶだけでなく、これらのミサイルは集団を編成し、互いに絶えず通信しながら飛び、条件が変われば再通信することができる。これらのミサイルは錐もみでも、ジグザグでも飛ぶことができ、ほとんど止められないと言われている。インサイダーのある者は、RF は超音速の魚雷をもっていて、魚雷と同じ能力を発揮し、小さな無人のドローン潜水機は、ほとんどのアメリカの潜水艦を遠くから追跡し、電子装置によって姿を隠すので、発見することは難しいと言っている。

一つの面白いファクターは、アメリカと RF の間に、前から存在する「秘密宇宙戦争条約」があることで、両国は、それぞれの開発した「秘密宇宙戦争」兵器類のみを、エイリアンの侵略者から地球惑星を護るために、使用することができる。これはロナルド・レーガン大統領が非常に興味を持っていたものである。レーガンは、両者のパートナーシップを熱心に主張し、アメリカは Deep-Black と Beyond-Black スター・ウォーズ兵器類を、創って開発しようとした。これらの新しい、進んだ RF 兵器は、「秘密宇宙戦争」兵器類の骨組みの一部なのか、それとも、RF が地球惑星で通常戦争を行うときに、使うように開発した、別の何かなのだろうか？

なぜ COL/RKM は、200 年以上もの間、ペルシャ（現イラン）と母なるロシアを滅ぼすことに、取り憑かれてきたのだろうか？ 明らかにその理由は、ペルシャもロシアも、ハザールに警告して、ハザールの近辺を通過する旅人たちを、殺して物を奪うことをやめさせたことから始まっている。専門のインサイダーの中には、RKM はいまだに、AD1200 年代に、ペルシャ（イラン）とロシアが、ハザールを滅ぼしたことを根に持って、永遠にその仕返しをする決意をしているのだ、と言う人々がいる。

トップ・インサイダーのある者たちは、ロシア連合がすべてのウクライナの軍事行動を押し潰すならば、それは「ロスチャイルド・ハザール-マフィア」(RKM) と、究極的には、

彼らのすべてのスパイ集団 (Cutouts) と、アメリカへの反逆者たちにとって、完全な世界的終わりを意味するものと、非常に恐れている。

しかし、それが起こるときまでに、時すでに遅しという結果になり、アメリカのすべてが、米ドルの完全崩壊とともに終わり、RKM/COL の、純粋なデジタル・システムによってそれにとって代わろうとする試みは、成功しないであろう。

アメリカの大都市には、現在、数百の MS-13 (マラサルバトルチャ) と呼ばれるギャング集団が存在し、彼らは「ザ・カンパニー」——CIA とも呼ばれる——によって十分に武装されている。これらのモンスターたちは、アメリカ内部の特殊部隊によって訓練され、歴史上最大の「アメリカの逆賊」にして法破りの一つである Fast and Furious Operation (迅速狂暴作戦) によって武装された。ザ・カンパニー (CIA) は、大都市から没収した警察の武器を、何年も前から、ギャングどもに分配していることが知られており、彼らは麻薬カルテルとの友好関係をもっていて、犯罪者同士を争わせ、あまり大きな勢力にならないようにしている。これら MS-13 モンスターのトレードマークは、身体や顔の刺青と、犠牲者たちの一部を切る習慣である。こうしたケダモノたちは、野蛮な怪物として、彼らの魂と機能そのものを失っている。

ザ・カンパニーが、麻薬を MS-13 に投与し、この血に飢えた野蛮人どもに殺人志向を植え付けていることは、知られていないが、インサイダーたちが言っていることから、確かだと思われる。兵士たちに化学薬品を使い、彼らが眠らなくても 1 週間も平気で、恐ろしいほど血に飢えて野蛮な人間にする実験は、最初、ベトナムで行われ、幻覚剤 “BZ” が用いられた。これは映画『ジェイコブズ・ラダー』で描かれた。インサイダー報告によると、兵士を超戦闘的状态にし、眠れなくし、何であろうと戦って勝たせるこの実験は、惨めに失敗した。それは麻薬を与えられた者たちが、互いに誰にでも襲いかかって、兵士仲間をも殺そうとしたからだった。

もう一つのザ・カンパニーによる同じような実験は、「バス・ソルト」 Bath Salts と呼ばれる薬物を、ある西海岸の大都市の麻薬ユーザーに配布したことである。この薬物の摂取によって起こった、もう一つの副作用は、彼らが同じの犠牲者の顔を食いちぎろうとしたことだった。ドラッグの効果が現れるにつれて、体温が急速に上がり、そのほとんどの者たちが、その異常行動の前に自分の衣服を脱ぎ、精神異常の無意識の怒りに駆られて、彼らの犠牲者を攻撃した。この事件はほとんど隠蔽されていたが、地方の新聞によってリークされた。

こうした驚くべき行動は、アメリカ人民を殺そうとする、国家への大逆罪であり、それは、民主党トップや、RINO（名だけの共和党員）のある者たち、また RKM（ロスチャイルドに支配されたハザール・マフィア）スパイによるものである。

・・・これらグローバリスト狂人が今、直面しているのは、彼らの核爆弾がうまく作動するかどうかである。なぜなら、RF（ロシア連邦）の新しい進んだ兵器は、そうしたものをすべて無力化することができる、うわさされているからである。

もし彼らに反し、RF と BRICS が、世界的な権力へのこの密かな戦いに勝つならば、アメリカの民衆が決起して、グローバリスト NWO のトップ・スパイ団と、国家反逆者たちに対する、最終的な審判と正義を求めることは間違いないであろう。彼らはアメリカを売り飛ばし、法の支配と裁判制度を破壊し、その経済を破壊し、アメリカを根底から転倒させるために数百万の不法移民を導入したのである。・・・

[訳者 Greatchain 注]

これは 4/14 記事「人間改造 (transhumanism) 作戦という陰謀：アメリカ犯罪の根」で提出された世界的な、解けない謎に対する歴史的な回答の試みと呼ぶべきものである。我々の生きているこの世界で、どうしてこんな途方もない犯罪的な出来事が起こるのだろうか？

なぜ何も知らぬ、純粋な子どもに対して、性転換というような恐ろしいことを言い出すのか？ 何の必要があるのか？ なぜイラクで無意味な虐殺テロが行なわれたのか？ なぜ「モスルの血の池」のようなことが起こるのか？ なぜ新聞やテレビで、これほどのウソやウソ隠しが横行するのか？ デンヴァー国際空港の壁画は何を意味するのか（私は「子供の死体のある風景」という言葉を使った）？ そもそも 9/11 テロはなぜ、誰が起こしたのか？ ウクライナはなぜ解決しないのか？ 今世界は、文字通り悪魔的な犯罪者集団の狂気を、全く存在しないかのように繕っている。（「原型をとどめない」陸自ヘリコプターの破壊のナゾは、この者たちの存在からしか解けないと思う。）

ここに「ハザール・マフィア」という、おそらくほとんどの人が聞いたことのない、恐ろしい犯罪集団の存在が、明るみに出されている。どうしてこれを、人はほとんど耳にしないのか、それ自体が問題である。「グローバリスト陰謀団」というような言葉は、わずかにでも聞かれるようになったが、それが何であるかは、依然としてタブーとなっている。

ここにロシア（ロシア連邦=RF と言っている）と対立させられて、その大昔からの宿敵としての「ハザール族」という悪魔的な集団が、仮説的に論じられている。そんなものは信じないと言うのは自由だが、我々に大きな謎が現に突き付けられ、生命の危険が現在、確実に存在するのだから（AI も「ワクチン」注射もその一つ）、問題そのものを避けて通ることはできない。

この仮説を提唱する人たち自身が、確実な自信があって言っているのではない。そのことは文面から伺うことができる。しかし仮説は、もしそれによって謎が次々に解けるなら、それは真実と認められる。この「ハザール・マフィア」について、4 つに分けて私の訳したものがあるので、参考にしていただきたい：――

<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210210.pdf>

<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210214.pdf>

<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210217.pdf>

<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/210220.pdf>